



津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
(代表115番)
編集人 岡松社
印刷所 猪方印刷所
八代市通町
電話(八代)②3117番

中学校改築と

町長 鶴田宣尊

私の理想は、津奈木町の人口が一人万人、自己財源が一億五千万円まで引き上げたいということです。この考え方でこれまでも進んできました。ところが、人口は年々減る一方で、十年前からすれば、二千人へつていています。十年前は田浦と人口は大体同じでしたが、今では田浦より千人少ない。津奈木には人を引留める産業がないからです。第4次農業構造改善に踏みきつたのも、海のレジャー産業に頼るのも、工場誘致に懸命なのも、人口増加をねらい、財政を豊かにするためにほかなりません。幹拓地の利用・漁業方面について、詳しいことは一々申し上げませんが、私たちの知らない間に、どこの会社が、津奈木の

動場・体育館などに行く通路がふさがれますので、校地の東側に道

長室もれましたので、特別の授業があります。そのため、廊下は、赤い廊下もれましたので、特別の授業があります。そのため、廊下は、赤い

なさずして、みんなから要望のあつて、いまいました津南中学校の改築が、いよいよ準備段階がすきて、実動期に入りました。

先ず、建築にかかりますと、運営にかかる手数を省略して、改築の予算を立てます。

川崎一幸

町民のための政治

議会議長

川崎一幸

昭和47年第1回津奈木町議会定例会

日次	月	日	曜	開会時刻	摘要
第1日	3・11	土	10時		開会 署名議員の指名 会期の決定 諸報告 議案上程 施政方針演説 提案理由説明 委員付託 散会
団体名					計画案内容
					実施予定期
第2日	3・12	日			休会
第3日	3・13	月	#		常任委員会
第4日	3・14	火	#		"
第5日	3・15	水	#		"
第6日	3・16	木	#		一般質問
第7日	3・17	金	#		委員長報告 質疑討論 採決会

前列右から	小嶋鉄夫先生	教頭
緒方重紀先生	理科	
齊藤潔先生		
緒方公先生	特殊	
松本シマ先生	特殊	
脇坂和子先生	教諭	
鶴野ミネ先生	会計	
春木正文先生		
山田シスカ先生		
中列右から		
安武功先生	井上アキ先生	一の二
	塚本宏先生	一の二
	大堂哲子先生	一の二
後列右から		
宮島安先生	六の二	
椎葉洋子先生	六の二	
小西由高先生	五の二	
浜田重雄先生	五の二	
上田博司先生	四の二	
競衛先生	四の二	
亀崎由布子先生	外に	
財部あけみさん	特殊	
井上アキ先生	井上アキ先生	井上アキ先生
塚本宏先生	塚本宏先生	塚本宏先生
大堂哲子先生	大堂哲子先生	大堂哲子先生
井上アキ先生	井上アキ先生	井上アキ先生
井上アキ先生	井上アキ先生	井上アキ先生
塚本宏先生	塚本宏先生	塚本宏先生
大堂哲子先生	大堂哲子先生	大堂哲子先生
井上アキ先生	井上アキ先生	井上アキ先生

三の二	井上アキ先生	井上アキ先生
二の二	塚本宏先生	塚本宏先生
二の一	大堂哲子先生	大堂哲子先生
二の一	井上アキ先生	井上アキ先生



おはようと言がおでニッコリよい子供

赤小二 伊藤千鶴子

寺尾裕子先生 一・二・三体

赤崎小学校

前田定邦先生 六年

鶴田和子先生 二年

松本千代子先生 一年

川上ヨシ子さん 序務

千々岩譲先生 四年

堀尾泰治先生 校長

酒井義弘先生 教頭

山田修先生 三年

塙山一之先生 五年

下石から

千々岩昭先生

井上昭先生 二年

前田誠先生 一年

古川清澄先生 二年

林田哲子先生 特殊

中田修先生 三社会

広松正先生 三理三技

矢田昭先生 二・三英

中段右から

橋木勇先生 一社

千々岩英昭先生 二社・国

前田卓先生 一・二・二数

中段右から

金新藏先生 校長

岩崎和正先生 一・二・三音

前田和徳先生 一・二数

柳迫隆康先生 三国

明石輝雄先生 一・二・三体

西弘先生 一・一・二

大野守先生 一・二理二技

生をお見

知りくだけ

たら時間があ

たら「このごろ、う

ちの子はどうしてい

ります」と話してあ

ります」「いそいいた

けでもいたし

ましてよう

わたし
せんせいの
わたくし

生をお見
知りくだけ
たら時間があ
たら「このごろ、う
ちの子はどうしてい
ります」と話してあ
ります「いそいいた
けでもいたし
ましてよう



明るいあいさつあかるいくらし ◎ 赤小五 津々木照夫

みなまで、お元気でしようか。
いいよつとうしい梅雨が近づいてまいりました。予測によりま

すと、今年の梅雨は、早くきて長

いながら見た泊港である。新緑がまこと
にあざやかで、藍がめから引き上げたばかり
のようだ。濃青で見事であった。

幹拓地の利用・漁業方面について、詳しいことは一々申し上げませんが、私たちの知らない間に、どこの会社が、津奈木の

動場・体育館などに行く通路がふさがれますので、校地の東側に道

ができると思います。

かねて、みんなから要望のあつて、いまました津南中学校の改築が、いよいよ準備段階がすきて、実動期に入りました。

まずは、建築にかかりますと、運営にかかる手数を省略して、改築の予算を立てます。

この

